

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2023年 4月 1日

事業所名

すたありっと1st

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|--------------|----|--|----|-----|-------------------------------|--|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 8 | | | |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 8 | | | |
| | 3 | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | 8 | | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | 8 | | | |
| 業務改善 | 5 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | 8 | | | |
| | 6 | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 8 | | | |
| | 7 | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 8 | | | |
| | 8 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 8 | | | |
| | 9 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 8 | | | |
| 適切な支援の提供 | 10 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | 8 | | | |
| | 11 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 8 | | | |
| | 12 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 8 | | | |
| | 13 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | 8 | | | |
| | 14 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 8 | | | |
| | 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 8 | | | |
| | 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している | 8 | | | |
| | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 8 | | | |
| | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 8 | | | |
| | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 8 | | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | 8 | | | |
| | 21 | 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 8 | | | |
| | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | 8 | | | |
| | 23 | （医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | 7 | 1 | | |
| | 24 | （医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | 7 | 1 | | |
| | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 7 | 1 | 就学前相談を実施 | |
| | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 7 | 1 | 就学前面談や勉強会を実施 | |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 8 | | | |
| | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | 6 | 2 | | コロナ禍のため、活動する機会がない。少しずつ緩和されてきたため、受け入れ可能な園や地域の場があれば参加を目指したい。 |
| | 29 | （自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | 5 | 3 | | コロナ禍で参加出来ていない。 |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 8 | | | |
| | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている | 8 | | | |
| | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 8 | | | |
| | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | 8 | | | |
| | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 8 | | | |
| | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 7 | 1 | オンラインでの開催を実施 | コロナ禍で開催頻度が下がっていましたが少しずつ緩和し開催頻度を増やしていきたい |
| | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | 8 | | | |
| | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 7 | 1 | | |
| | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意している | 8 | | | |
| | 39 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 8 | | | |
| 非常時等の対応 | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 7 | 1 | 地域のボランティア団体や近隣の方との交流の機会を作っている | |
| | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | 8 | | | |
| | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 8 | | | |
| | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | 8 | | | |
| | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 8 | | | |
| | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 8 | | | |
| | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 8 | | | |
| | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | 8 | | | |

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

公表：2023年 4月 1日

事業所名 すたぁりっと1st

保護者等数（児童数）

回収数 23

割合 72 %

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わから ない | ご意見 | ご意見を踏まえた 対応 |
|-----------------------|---|----|---------------|-----|-----------|---|---|
| | | | | | | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている | 19 | 2 | | 2 | ・1日の定員が決まっているので十分確保されている | ・お子様の特性やその日のプログラム内容によって必要に応じ部屋を分けて調整しています。 |
| | 2 職員の配置数や専門性は適切である | 19 | 1 | | 3 | ・コロナ禍で働く休んでいたのでわからない ・手厚く感じている ・職員一人一人の専門性を存じていない | ・それぞれのスタッフの専門的な視点から日々の引継ぎやアドバイスを引き続き行っていきます |
| | 3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | 21 | 3 | | | ・コロナ禍になり教室の状況を見れていないため分からない | ・視覚の手がかりを活用し見通しや場所を認識できるように調整しています。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | 20 | 2 | | 1 | | ・毎日の館内清掃や玩具の消毒を実施 ・空気清浄機の設置 |
| 適切な 支援の 提供 | 5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている | 22 | 1 | | | ・一人一人分析された上で計画を立ててくれている | ・保護者様とのモニタリングや面談内容を踏まえ、支援員と相談し内容を決定しています。 |
| | 6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 20 | 1 | | 2 | ・ガイドラインの内容を知らないため、適切に選択されているか分からない | ガイドラインに沿って設定させて頂いております。不明点がございましたらお声かけ下さい。 |
| | 7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | 22 | 1 | | | ・1年を通してクリアできている | |
| | 8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている | 19 | 2 | | 2 | | |
| | 9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | 8 | 2 | 2 | 11 | ・地域の方々と交流を持てるよう工夫して頂いていると感じます ・保育園の先生達と情報共有して頂いているので心強いです | |
| 適切な 支援の 提供 | 10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた | 20 | 2 | | 1 | | |
| | 11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた | 20 | 1 | | 2 | | |
| | 12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われている | 13 | 4 | 2 | 4 | ・保護者へのプログラム配信はあったが都合が合わず参加出来なかった | ・コロナ禍が落ち着いてきましたので定期的に実施していきたくと思います。 |
| | 13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか | 21 | 2 | | | ・軽く打った程度でも伝えてくれます ・1日の様子を教えてもらっています | |
| | 14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている | 22 | 1 | | | | |
| | 15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている | 7 | 1 | 6 | 9 | ・保護者同伴のイベントの開催はあるが保護者会はないように思います。 ・管理者の方がきっかけとなり他の保護者と交流する事が出来ました。 | ・コロナ禍で開催回数が減っていましたが、少しずつ開催頻度を上げていきたいと思っています。 |
| | 16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている | 22 | 1 | | | | |
| | 17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている | 21 | 2 | | | | |
| | 18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている | 16 | 2 | 2 | 3 | ・インスタグラムは見えています | ・インスタグラムの閲覧ありがとうございます。 |
| 19 個人情報の取扱いに十分注意されている | 21 | 1 | | 1 | | | |
| 非常時 等の 対応 | 20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている | 14 | 1 | | 8 | ・どんなマニュアルか知らない ・通所するにあたって説明はありましたが、まだ訓練の日に通所日が重なっていない | ・契約時に説明させて頂いておりますが、引き続き周知をさせていただきます。 ・お子様が訓練に参加出来るよう調整させていただきます。 |
| | 21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている | 16 | 1 | | 6 | ・どんなマニュアルか知らない ・通所するにあたって説明はありましたが、まだ訓練の日に通所日が重なっていない | ・契約時に説明させて頂いておりますが、引き続き周知をさせていただきます。 ・お子様が訓練に参加出来るよう調整させていただきます。 |
| 満足 度 | 22 子どもは通所を楽しみにしている | 19 | 3 | | 1 | ・お預りより楽しんで言っている ・通所する日をいつも楽しみにしています ・行くときは嫌々と言っているが楽しそうに楽しんでいる | 引き続き楽しんでご利用頂けるよう様々なプログラムを用意しております。 |
| | 23 事業所の支援に満足している | 21 | 2 | | | ・1stに来てよかった ・スタッフの皆さんにはいつも感謝しています | ありがとうございます。日々の情報を共有し、共にお子様の成長に関わらせて頂きたいと思っております。 |

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2023 年 4月 1日

事業所名 すたありっと1st

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|--|---|----|-----|----------------------------|--|
| 環境・ 体制 整備 | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 7 | 1 | 児童の人数に合わせ、部屋を分ける等の対応を行っている | 引き続き、児童の状況を見ながら一部屋の児童数の調整を行う |
| | 2 職員の配置数は適切である | 7 | 1 | | |
| | 3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | 8 | | | |
| 業務 改善 | 4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | 8 | | | |
| | 5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 8 | | | |
| | 6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 8 | | | ホームページにて公開している |
| | 7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 8 | | | |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | 8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 8 | | | |
| | 9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 8 | | | |
| | 10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 8 | | | |
| | 11 活動プログラムの立案をチームで行っている | 8 | | | |
| | 12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 8 | | | |
| | 13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 8 | | | |
| | 14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している | 7 | 1 | | |
| | 15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 8 | | | |
| | 16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 8 | | | |
| | 17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 8 | | | |
| 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 | 18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 8 | | | |
| | 19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている | 8 | | | |
| | 20 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 8 | | | |
| | 21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている | 7 | 1 | 保護者を通じ行っている | |
| | 22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | 7 | 1 | | |
| | 23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | 7 | 1 | 保護者との就学前相談を実施 | 保護者や対象施設の希望があれば資料の作成や担当者会議等の共有を積極的に行っている |
| | 24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | 8 | | | |
| | 25 児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 6 | 2 | | |
| | 26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | 5 | 3 | | コロナ禍のため、活動する機会がない。少しずつ緩和されてきたため、受け入れ可能な園や地域の場があれば参加を目指したい。 |
| | 27 （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している | 5 | 3 | | コロナ禍で参加出来ていない。 |
| 保 護 者 へ の 説 明 責 任 等 | 28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 8 | | | |
| | 29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | 7 | 1 | | |
| | 30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 8 | | | |
| | 31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 8 | | | |
| | 32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 7 | 1 | | |
| | 33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 8 | | | |
| | 34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 8 | | | |
| | 35 個人情報に十分注意している | 8 | | | |
| 非 常 時 等 の 対 応 | 36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 8 | | | |
| | 37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 8 | | | |
| | 38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 8 | | | |
| | 39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 8 | | | |
| | 40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 8 | | | |
| | 41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 8 | | | |
| | 42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 8 | | | |
| 43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 8 | | | | |

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

別添資料 1 1

公表： 2023年 4月 1日

事業所名 すたありっと1st 保護者等数（児童数） 回収数 5 割合 100 %

| | | チェック項目 | | | | | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|------------------|----|--|----|---------------|-----|-------|--------------|--|
| | | | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 4 | 1 | | | | |
| | 2 | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 5 | | | | | |
| | 3 | 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか | 4 | | | 1 | | |
| 適切な 支援の 提供 | 4 | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか | 5 | | | | | |
| | 5 | 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか | 5 | | | | | |
| | 6 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか | 1 | | 2 | 2 | | |
| 保護者 への 説明等 | 7 | 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 5 | | | | | |
| | 8 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 5 | | | | | |
| | 9 | 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 5 | | | | | |
| | 10 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 1 | 1 | 1 | 2 | | |
| | 11 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 4 | | | 1 | | |
| | 12 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 5 | | | | | |
| | 13 | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか | 4 | | | 1 | | |
| 非常時 等の 対 | 14 | 個人情報に十分注意しているか | 5 | | | | | |
| | 15 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか | 3 | | | 2 | | |
| 満足 度 | 16 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 3 | | | 2 | | |
| | 17 | 子どもは通所を楽しみにしているか | 4 | | | 1 | 毎回楽しみに通所している | ありがとうございます。引き続き楽しんで通所して頂けるようにさせていただきます |
| | 18 | 事業所の支援に満足しているか | 5 | | | | | |

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。